

## 精神保健相談

期日 7月8日(木)  
 時間 ①午後2時〜3時  
 ②午後3時〜4時  
 会場 スマイル  
 申込先 6日(火)まで象潟保健センターへ  
 ンターへ

## こころの相談

期日 7月16日(金)  
 時間 ①午前10時〜正午  
 ②午後2時〜4時  
 会場 象潟保健センター  
 申込先 14日(水)まで象潟保健センターへ  
 ンターへ

## 親子のニコニコクラブ

▽ひよこ・ぱんだコース  
 期日 7月6日(火)  
 対象 平成20年4月2日〜22年4月1日生まれ  
 内容 救命救急講習会  
 受付 午前9時30分〜10時  
 会場 象潟保健センター  
 申込期限 7月5日(月)まで  
 ▽うさぎコース  
 期日 7月15日(木)  
 対象 平成18年4月2日〜20年4月1日生まれ  
 内容 救命救急講習会(消防署見学)

会場 にかほ市消防署  
 ※当日は現地集合です。  
 受付 午前9時45分〜10時  
 申込期限 7月20日(火)まで  
 ※参加希望の方は必ず象潟保健センターへ申し込みください。

▽夏祭り  
 期日 7月27日(火)  
 時間 午前10時〜11時30分  
 会場 象潟保健センター  
 ※自由に遊びに来てください。  
 お兄ちゃん、お姉ちゃんの参加も大歓迎です。  
 ▽すくすくひろば  
 (7月の象潟保健センター開放日)  
 期日 15日(木)、16日(金)、20日(火)、22日(木)、23日(金)、28日(水)、30日(金)  
 時間 午前9時30分〜11時30分  
 ▽7月のこころ相談日  
 期日 23日(金)  
 時間 午前10時〜11時  
 ※身長・体重も計れます。

## 日本脳炎予防接種(1期初回)再開のお知らせ

平成17年から積極的な接種を控えていた日本脳炎予防接種ですが、国からの連絡により、平成22年6月1日から初回接種を再開することになりました。次

に該当する児は早めに医療機関で接種してください。  
 対象 平成19年4月2日以降に生まれて3歳になった幼児  
 予診票 予防接種手帳に綴られている予診票を使用  
 ※接種可能医療機関は、予防接種手帳の「実施医療機関一覧」で確認して予約してください。  
 ※平成17年以降の中止により、接種の機会を逃した児については、今後、ワクチンが確保でき次第接種できるように、国で検討中です。

## 親子の健康料理教室に参加しませんか

「親子の健康料理教室」を3回シリーズで開催します。  
 子どもの健やかな成長には、よい食習慣が大切になります。  
 この教室で夏休みの一日を親子で楽しく食育について学び、基本の料理作りにチャレンジしてみませんか。1回目の開催は次のとおりです。  
 日時 8月1日(日)  
 午前10時〜午後1時  
 会場 スマイル  
 対象 小学3〜6年生の親子  
 参加料 200円



持ち物 エプロン、三角巾  
 申込期限 7月20日(火)まで  
 申込先 健康推進課  
 ※定員になり次第締切らせていただきます。  
**受けよう!がん検診!!**  
 『肺がん検診・大腸がん検診』  
 平成21年度のかほ市のがん死亡の中で、肺がんは2番目に多く、大腸がんは3番目に多い死因となっています。  
 肺がんはタバコとの関連性、大腸がんは食生活の欧米化による脂肪分摂取の増加と食物繊維摂取の減少との関連性がいわれ40歳頃から増えてきます。  
 早期発見・早期治療を指して市では、7月から各地域で検診が始まります。無症状でもきちんと検診を受けるようにしましょう!!



## 知っていますか? 子宮頸がんは予防できる『がん』です

女性の約80%が子宮頸がんの原因ウイルスに感染  
 国が予防ワクチン承認

ワクチンによる  
 予防効果が高いのは感染前

子宮頸がんは、女性の命はもろいこと、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまう、生活や人生に大きな影響を及ぼす病気ですが、他のがんとは違って原因が解明されており、予防が可能ながんです。

子宮頸がんの発症のほとんどは、ヒト・パピローマ・ウイルス(HPV)の感染が原因です。発がん性HPVは性交渉のみで感染し、性交渉経験のある女性の約80%が一生涯一度は感染しているという報告があるほど、ありふれたウイルスです。感染してもほとんどの人には免疫機能が働き、1年以内に消失しますが、

一部の人は残ってしまい5〜10年後に子宮頸がんが発生すると考えられています。

子宮頸がんを予防するには、感染する前にしっかりと免疫をつけることが大事です。

日本産科婦人科学会や日本小児科学会は11〜14歳の女児を接種対象として推奨することを検討しており、これにより子宮頸がんの発生を約70%減少させることができるものと期待されています。

将来的には「必ず受けなければならない」予防接種になると思われるほど、効果のある予防接種ですので、ぜひこの機会に接種することをお勧めします。



## 7月1日から ワクチン接種料金を一部助成します

免疫をしっかりとつけるため、ワクチン接種は3回必要です。  
 助成対象者(中学1〜3年の女子)に詳細と接種できる医療機関を通知します。直接電話で申し込みください。  
 ※接種記録を記入するため、母子手帳を医療機関に持参してください。

助成対象者  
 平成7年4月2日〜平成10年4月1日生の女性

接種スケジュール  
 1回目 希望した日  
 2回目 1回目の1ヵ月後  
 3回目 1回目の6ヵ月後  
 接種料金 15,000円前後 ×3回

※接種料金は医療機関によって異なりますので、各医療機関にお問い合わせ下さい。  
 助成額 1回につき7,500円

※生活保護世帯・準要保護世帯の対象者は全額助成  
 自己負担額 接種料金から市の助成額(7,500円)を

## 20歳以上の方は 子宮がん検診を受けましょう

予防接種の効果については、長い人で10年以上あるというこのワクチンですが、残念ながらこれだけでは子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。  
 20歳になったら、20〜30歳代は毎年、40歳代以降は2年に1回子宮がん検診を受けるようにしましょう。

## 問合せ

仁賀保健センター ☎32-3000  
 金浦保健センター ☎38-4200  
 象潟保健センター ☎43-7501